

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第6回研修を開催しました！」

第6回の研修は、令和6年6月7日（金）、8日（土）に雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、種子と育苗などについての講義を行いました。

講義では、種に薄く被膜したフィルムコート種子やペレット種子などの形態や特徴、発芽の条件や、セルトレイを使用した育苗方法と培土、畝に直蒔きする品目とセルトレイの育苗する品目の区別について学びました。

受講生はピンクや灰色などにコーティングされた種子を手に取り、じっくりと観察していました。

指導員からは、コーティング種子は乾燥すると発芽率が下がるため、土を乾燥させないことと、は種の前には、土を細かく砕土すること、との説明がありました。

休憩を挟み、実習ではにんじんといんげんのは種を行いました。

にんじんは講義で学んだコーティング種子と裸種子の2種類をは種し、受講生は見た目の違い、蒔きやすさなどを肌で感じながらは種を行っていたようでした。

また、にんじんのは種後の畝には十分に灌水し、乾燥させないために不織布を敷設しました。

実習野菜の栽培管理として、じゃがいもの追肥・土寄せ作業を行ったあと、昨年の秋に見本園に定植したいちごの収穫を行いました。

赤く熟したいちごを口にして、受講生は品種ごとの味や食感を楽しんでいました。

次回の研修は、6月14日（金）、15日（土）に、農作業安全①（刈払い機の安全操作）について、などの講義と、実習では、刈払い機の操作、ねぎの定植を行う予定です。



にんじんの種を観察する受講生



いんげんのは種を行う受講生



にんじんのは種をする受講生



いちごの収穫を楽しむ受講生